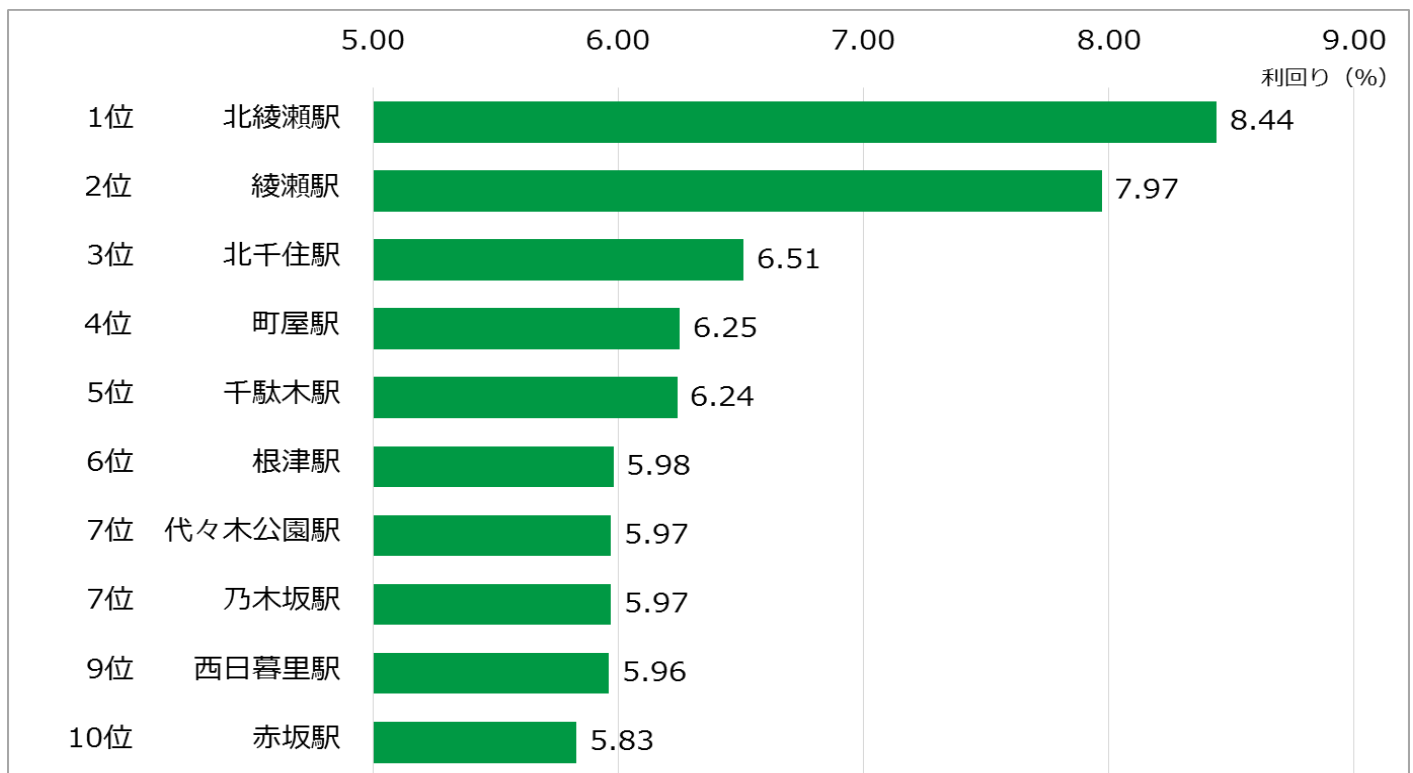


【投資マンション 利回りランキング：千代田線編】 1位は、都心への直通運転計画で 注目の「北綾瀬駅」 8.44%

不動産投資と収益物件の情報サイト「健美家(けんびや)」を運営する健美家株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:倉内敬一)では、同サイトに登録された新規物件を集計し、「千代田線沿線駅別 マンション投資利回りの平均」の調査結果をまとめましたのでお知らせいたします。

千代田線沿線駅別 投資マンション利回りランキング2016年6月～2017年5月



※健美家に2016年6月～2017年5月に新規登録された物件1,880件より抽出
※登録数5件以下の新御茶ノ水駅・国会議事堂前駅・霞ヶ関駅・日比谷駅・二重橋前駅・明治神宮前駅除く

■2018年度に北綾瀬駅が始発駅に！都心へ直通化する予定

千代田線を利用の利回りの高い順にランキングした結果、物件登録のあった14駅中、荒川の東側に位置する北綾瀬駅・綾瀬駅を除く12駅で利回り6%台以下の低利回りとなった。千代田線は下町エリアとして注目の高い根津・千駄木周辺、ビジネス街の日比谷・大手町・霞ヶ関周辺、大学の集まる新御茶ノ水周辺、ファッションや文化が集まる表参道や代々木上原周辺など、主要な街を繋ぐ路線だ。さらに、常磐線・小田急線それぞれと直通運転をしているため、千葉・神奈川方面へのアクセスも良い。このように、利便性に加えて沿線の街に注目が集まる路線だけに、築年数が古い等、条件が悪くても全体的に低利回りとなっている。

注目すべきは利回り1位の「北綾瀬駅」。現在は綾瀬駅で乗り換えが必要な3両編成の分岐線だが、10両編成に対応するためのホーム延伸工事を行っており、2018年度には本線と直通運転をする予定だ。これにより都心へのアクセスが向上し、始発駅というメリットも生まれる。それらを反映してか、利回りは前年比で本駅のみ1ポイント以上の低下となった。高利回りなのは今のうちで、今後は低利回り化が進むと思われる。

健美家(けんびや)は、収益物件の紹介、著名な不動産投資家によるコラム、全国の大家さんのブログ集、セミナー情報等、「不動産投資にかかわる多くの人たちに役立つ情報」を提供している不動産投資の専門サイトです。⇒<https://www.kenbiya.com/>

■お問い合わせ 健美家株式会社 広報室 加藤 浩子(かとう ひろこ)

TEL:03-6804-5314 FAX:03-6804-5313 E-mail : press@kenbiya.com

※調査データを引用する際は、「不動産投資と収益物件の情報サイト 健美家(けんびや)」と明記をお願いいたします。